

今日は十月二十日です 教育勅語換發記念日を迎へて

【精勤通信】

明治二十三年十月三十日は長くも明治天皇陛下が教育勅語を頒發し給ふ記念日であります。教育勅語は申すも畏れ多いことながら我が國皇道の根本を御示になつたものであり我が國民の精神の源り處と明かし給ふたものであります。我が國民たるものは内外共に奉公處世の大聖典として奉々服膺しなければならぬ。

始めに「我が皇祖皇宗國を繼ぐルコト宏遠」とのらせ給ふことは建國の宏遠なることを示されられたものであります。皇祖は大照皇大神、皇宗は皇祖以後先帝までの各皇上別しては神歩天皇を拜し奉るべきであります。次に「我々臣民克ク忠ニ克ク孝ニ」と仰せられ忠孝貞節の道義は我が國固有の美風であつて決して他の傳來即ち外國思想にあらずることを示し給ふて「斯ノ道ハ實に我々皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ」とらせ給ひ子孫臣民の遵守すべき大義大典であり古今に通じてあやまらず中外に施してもとる所なきものであることを示し給ふたのであります。

特に又「徳兆心ヲ一ニシ、威其徳ヲ一ニセントラ庶幾フ」との御勅語は實にこれを仰げばいよいよ高くこれをさぐればいよいよ堅く、申すにも言なき高大無邊の御勅語であります。五十年二十年に亘る東亞新秩序の長期建設にあたりこの御勅語を奉じて一徳一心、徳を一にし有終の美を濟さねばなりません。

伊藤公を偲ぶ

(三) 東畑英夫氏談
隨行員として行を共にした時の關東都府警務課長警視東畑英夫氏(七六)回想談


干やなぎ

賣り始めました

平市土橋

丸仙商店
電話六六二番

銃後の商家計費引下に
一日のサビステイを
十番のサビステイを
専利用下さい



平マケド

文魁文堂

電話313番

何だか判らないが慌て、馬車に飛乗り驛に駆けつけた、すると又電報、電報と引續き二本「箱桶は一つよろし」
「當方で準備出来たと箱桶のことばかりで伊藤公とも誰とも云つて来ぬし、容態を一向に知らせて来ない、そのうち伊藤公と判明し私共は天地が一時に暗くなつたやな気がしましたよ、滿洲では一切、焼香もさせなかつたが當時の噂は大變なもので露西人ちやないか、日本人にはそんな心得違ひはないなどと大變な騒ぎだつたがそのうち不逞鮮人安重根と發案されたものだった、公はピストルの音がした時、誰だッ馬鹿者が、あれからもう卅年になるが、い最近の様な気がする

開業
内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士内木宗八
入院隨時

御婚禮 御法事
御會食 御宴會
尚ほ季節料理
松茸そば 同 井
平市田町 電話一七一番
とがさ家
料理部

吸入用酸素純度99%

モノサシ
ハカリ
マ
ス

体温器
寒暖計

關内藥局
電話四〇番

かまぼく

折詰庄造製

お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目

不存堂

▽配達人用 電話一四一發

移轉開業(九月二十日ヨリ)
耳鼻喉科 專門
増田醫院
平市紺屋町(吉田眼科前)
電話六五一番

小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全決、上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知致シ御挨拶申上候
増田之

内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科

門專
院醫科腸胃性村松
(番七〇一電)町南市平

これは便利!
★手を荒さず
★絹、毛織物、木綿、スワの生地を傷めず
★つけておくだけで洗へる

美マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一一

内臓外科
レントゲン科
北川外科
醫學博士 北川芳夫
平市新川町(電話四六四)

晝夜診療
入院隨時